

# 内子町誌目次

## 第一編 自然の姿

第1章 位 置	3
第1節 数理的位置	3
第2節 交通的位置	5
第3節 面 積	6
第2章 地形と地質	8
第1節 肱川流域の地形概観	8
第2節 内子町の地形的位置	11
第3節 地質組成と山地地形	13
第4節 丘陵、台地と低地地形	15
第3章 地下資源	22
第4章 気候と天災	25
第1節 内陸盆地の気候	25
第2節 気温、雨量その他	27
第3節 天 災	28
第5章 動 植 物	30
第1節 植 物	30
第2節 動 物	33

## 二編 歴史の流れ

第1章 遺跡と記録をたずねて	41
第1節 内子のあけほの	41
第2節 古代の内子	42
第3節 中世の内子	43
第2章 封建治下の営み	46
第1節 諸氏興亡の余波 (1)	50
第2節 諸氏興亡の余波 (2)	62
第3節 藩治下の曾根広瀬郷	73
第4節 生産の起り	99

第5節 生活と文化	103
第3章 近代の歩み	106
第1節 廃藩置県と戸長制度	111
第2節 町村制の実施	122
第3節 生産の盛衰	132
イ 和紙と木蠟	136
ロ 養蚕と製紙	148
ハ 商業と金融	159
第4節 教育文化の興隆	165
第5節 交通、通信の発達	186
第6節 米騒動と内子地方	193
第7節 生活と習俗	198
第8節 戦争と郷土	205
第4章 民主主義の波	232
第1節 敗戦の爪あと	236
第2節 農地改革	241
第3節 首長公選と婦人参政	265
第4節 6、3制の実施	268
第5節 自治警察と消防	273
第6節 戦後10年	288
第三編 新しい町づくり	
第1章 内子町の誕生	295
第1節 町村合併の流行	295
第2節 新しい町名	296
第3節 県の合併指導と内子町	296
第4節 合併までの旧町村の表情	297
第5節 合併後日譚	299
第2章 行政の発展	300
第1節 財政の規模	303
第2節 建設計画と実施	313
第3節 地財法の適用	318
第4節 のびゆく社会福祉	332

第5節 挫折した内山市構想	345
第6節 支所廃止と事務改善	349
第3章 生産の営み	361
第1節 農林業	363
イ 企業的農業への動き	365
ロ 農業技術の革新	370
ハ 新しい林業	376
ニ 農林業団体の動き	378
第2節 商工業	384
イ 商工会	384
ロ 商店街	387
ハ 青果市場	389
ニ 地場産業	391
第4章 交通と通信	396
第1節 道路、橋梁	398
第2節 国鉄内山線と国道56号線	404
第3節 電話の普及と自動化	417
第4節 郵便	420
第5章 教育と文化	428
第1節 教育施設の整備	434
第2節 文化団体の活動	443
第3節 新聞テレビの普及	450
第6章 経済成長と生活革新	457
附 編	
第1章 民俗資料	463
第1節 序	463
第2節 年中行事	464
第3節 民話	477
第4節 方言	488
第5節 民謡、童謡	495
第2章 名所、旧跡	503
第3章 人物小伝	523
第4章 年表	547